

修大 Shudai Hyakkei 百景



二灯式ガス燈

7号館前のハーモニーロードに、二灯式ガス燈6基が設置されています。このガス燈は、1994年のキャンパス中央道路整備に合わせて、後援会と同窓会より寄贈されたものです。当時の沼田キャンパス移転20周年記念式典では引き渡し式も行われました。現在は部品の生産終了により点灯していませんが、今もなお、当時の面影がそのまま残っています。



Truth

バックナンバーはこちら >>>



広島修道大学公式SNS >>>

X (旧 Twitter)
@shudo_u

YouTube
@shudo_university

Instagram
@shudo_university

Facebook
@HiroshimaShudoUniversity



広島修道大学

学長室総合企画課
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



もっと知りたい、広島修道大学

Truth

Hiroshima Shudo University

Vol.

228

Winter
2024



学生のアイデアを生かしたお惣菜を共同開発



詳しくはこちら



やまだ たけし 山田 健さん
商学部商学科3年

なかしま あやね 中島 采音さん
商学部商学科3年

きそ みのる 木曾 稔さん
商学部商学科3年

せお たいき 瀬尾 太希さん
商学部商学科3年

商学部の徐ゼミナールと、本学と包括的連携協定を締結している株式会社イズミが共同開発したお惣菜が、広島県内のゆめタウンなど合計16店舗にて販売されました。徐ゼミナールでは、マーケティング理論の学習に加え、学生が社会に出るから通用する実践力の養成を重視しています。4月からスタートした共同開発では、惣菜業界の動向や商品開発の工夫についての勉強会、店舗の売場見学、商品提案会、商品開発(試作・試食・改良)、最終プレゼンテーションを経て、商品化が実現しました。11月から期間限定で販売され、株式会社イズミのご担当者さまからは「販売状況も良く、売上に貢献していただきました」といった評価を得ました。

ゼミ生の山田健さんは、「共同開発を通じて、一から商品を企画・提案、販売まで形にしていくなじみやその難しさを学びました。何よりチームで一つのことを成し遂げるといった達成感を味わうことができる素晴らしい経験になったと思います」と話しました。

本学では、今後も株式会社イズミと協力をしながらさまざまな連携事業を展開していきます。

Gallery

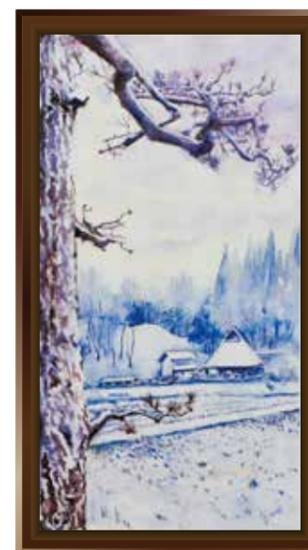


県外の方から、広島県は温暖な瀬戸内式気候でよいですねと言われることがあります。確かに、沿岸部や島しょ部の年間平均気温は、熊本市の年間平均気温と同じくらいです。しかし、冬には雪深い地域もあり、備北地域の年間平均気温は青森市と同じです。山もあり、海もあり、少雨温暖な瀬戸内から、積雪寒冷な山間部まで、広島県の地理は日本の縮図といえるかもしれません。

特に雪深い地域として有名なのは、山県郡の北広島町八幡や庄原市の高野町です。北広島町は、かつての大朝町、芸北町、千代田町、豊平町が一緒になった広域合併町で、町内には複数のスキー場があります。やわたハイランド191リゾートなどが有名ですが、かつてはもっと多くのスキー場がありました。レジャーの変化だけではなく、気候変動による積雪の不安定さも大きく影響しています。高野町にある「道の駅たかの」は、りんご、大根、米など高冷地ならではの美味しい特産品で人気です。その一角に「雪室(ゆきむろ)」があります。雪室は、冬に積もった雪を使って一年中野菜などを冷やすことができる天然の冷蔵庫です。室温が低く湿度が高いため、おいしく保存できるといわれています。ところが、今年、雪室の雪が9月になくなってしまったとのこと。ここにも気候変動の影響がみられます。

日本の縮図である広島県に暮らす私たちは、身の回りの変化に少し敏感になるだけで、日本全体、地球全体の変化を感じ取ることができるかもしれません。

やの いずみ
学長 矢野 泉



芸北の冬
作 矢野 泉

CONTENTS

- 2 SHUnDAI 旬な修大
- 4 特集1
近年における大学改革の歩み
- 8 特集2
新ブランドアイデンティティ決定
- 10 未来への探求
永岡 成人 准教授 経済科学部
- 12 修大人の飛翔 -活躍する卒業生
瀧本 剛士 さん
株式会社広島ドラゴンフライズ 営業部 部長
- 14 修大人 -在学生紹介
前野 萌咲 さん 法学部法律学科4年
- 15 海外留学記
岡部 利奈 さん
国際コミュニティ学部国際政治学科4年
- 16 サークルインフォメーション
サークルニュース/広報スタッフインタビュー
- 17 Shudo×SDGs
「修道オープンアカデミー・リカレント講座
初心者のためのGIS入門・GIS基礎を開講」
「PSI事業として広島修道大学
ひろしま協創中学校・高等学校で
アントレプレナーシップ教育を実施」
- 18 Campus News
- 20 INFORMATION
- 24 修大百景
二灯式ガス燈

近年における大学改革の歩み 2018 ▶ 2024

2018

2019

2020

2021

教育

国際コミュニティ学部開設

国際コミュニティ学部（国際政治学科・地域行政学科）を開設した。

研究

「広島修道大学における人を対象とする研究倫理審査規程」の施行

国の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を参考に、本学の研究者等が行う人を対象とする研究について、人権が守られ、研究が適正に実施されるために規程を制定した。

2019年度の冬～2021年度にかけて新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応

- 緊急対策本部を設置し、「広島修道大学における新型コロナウイルス感染症に対する活動指針」や「広島修道大学における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」等を作成した。
- 授業については活動指針に定めた危機レベルに応じて、原則非対面型授業や、対面授業と非対面型授業の併用等を切り替えながら実施した。
- その他学生・教職員の健康と安全を守るため、サークルや学生の海外派遣などの学生活動、行事、留学生の受け入れ、学内施設の利用なども危機レベルに応じて対応を切り替えた。



「広島修道大学動物実験等に関する規程」の施行

本学の研究者が教育研究の目的で動物実験等を適正に行うための規程を制定した。

「広島修道大学における人を対象とする研究倫理審査規程」を全面改正

国の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が制定されたことを受け、本学でも規程の全面改正を行った。

「広島修道大学における公的研究費等の不正防止に関する基本方針」を改定

公的研究費を適正に管理運営し、不正使用等を防止するための基本方針を改定し、学外へ公表した。



内部質保証の方針・体制の見直し

第3期認証評価（2018年受審）での提言を受け、組織の権限・役割分担を明確にし、内部質保証システムを有効に機能させるように改善した。

卒業研究等に関するルーブリックを全学部にて作成

第3期認証評価（2018年受審）での提言を受け、学修成果の把握や評価を目的として「卒業研究」等を全学部必修化し、一部の学部で先行して運用していた「卒業研究」等に関するルーブリック*を全学部で作成した。

*ルーブリックとは？
学修における具体的な目標とその達成基準を一覧表の形式に整理した評価表

社会連携

三次市と包括連携協定締結

それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、地域の発展と人材の育成に資することを目的として、包括的な協定である「連携協力に関する協定書」を締結した。

ミズノ株式会社と包括連携協定締結

それぞれの資源、研究成果等を活用して、スポーツ推進・振興、人材の育成、地域の発展に資することを目的として、包括的な協定である「連携協力に関する協定書」を締結した。



「地域つながるスタートアッププロジェクト」が始動

「地域つながるプロジェクト」の準備段階として、地域を知ることから始め、地域活動の知識・心構えを身につけることや、地域の抱える問題の発見に向けて取り組むプロジェクトが始動した。

「産学官連携ポリシー」の公表

本学の社会貢献・社会連携の方針に新たに「産学官連携ポリシー」を追加した。産学官連携を積極的に推進することにより、本学の教育および研究活動において得られた知の成果を広く社会に還元し、具体的な課題の解決やイノベーションの創出に取り組む。

「ひろみら地域協創スタジオ」が始動

「ひろみらイノベーションスタジオ」の理念を継承し、新たに始動した。本学と連携協定を締結する地方公共団体・企業・団体が抱える地域課題の解決に向けて取り組む。



「広島修道大学職務発明等規程」の施行

教職員等の発明等の取り扱いに関して発明者等としての権利を保障し、研究・職務遂行意欲の向上を図るとともに、発明等の社会的活用を通じて地域社会の発展に貢献するための規程を制定した。

「広島修道大学産学官連携における研究上の秘密情報保護に関するガイドライン」の制定

企業等との秘密保持の条項を含む契約に基づく共同研究や受託研究、学術指導等の産学官連携活動を実施するに当たり、秘密情報を適切に管理することにより、秘密情報を保護し、産学官連携活動の円滑な推進を図るためのガイドラインを制定した。

- フェリシアン大学(アメリカ)との協定締結

- サンカルロス大学(フィリピン)との協定締結

- 四年制大学として開学60周年

- 広島修道大学事業継続計画(BCP)*の策定

*事業継続計画(BCP)とは？

自然災害など、事業を中断させるさまざまな脅威に遭遇した場合に、損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと

2022 2023

教育方針(3つのポリシー)の全面的な見直し

2024年度からの全学的なカリキュラム改定にあわせ、教育方針をより分かりやすく、体系的に整備した。2024年度生より適用。

「広島修道大学安全保障輸出管理規程」の施行

本学における研究成果・技術等が軍事転用可能な技術として利用されることを防止するため、技術の提供や貨物の輸出等の管理を行う規程として制定した。

「アセスメントプラン」の制定

全学、学部、研究科のアセスメントプラン*を制定し、あわせてその成果を可視化・評価するためのアセスメントチェックリストも作成した。
*アセスメントプランとは?
教育方針(3つのポリシー)に基づく教育活動によって、学生が十分な学修成果を得ることができたかを評価するための具体的な実施方法を定めた方針のこと

全学年対象にアセスメントテスト(GPS-Academic)を実施

学生が大学生活を通じた自分の成長を知ることができるように、社会で活躍する上で重要な力を多角的に測るテストを導入した。

「教学マネジメント委員会」の設置

本学の教育目的を達成するために、教育方針(3つのポリシー)に基づく組織的な教育を展開し、教育の継続的な改善・向上を図り、全学的な教育の質保証に資することを目的として設置した。

「ブレンド型授業」の導入

コロナ禍を受け、授業のあり方について検討を行い、授業方法は対面授業を原則としながらオンライン授業を活用する「ブレンド型授業」を導入した。

「広島修道大学障がい学生支援に関する規程」の施行

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、新たに規程を制定し、障がい学生支援についての基本姿勢、受け入れ方針等を公表した。

カリキュラム・マップ*1とカリキュラム・ツリー*2を全学部、研究科にて導入

カリキュラム全体の整合性や体系性をより分かりやすく理解するために全学部、研究科にて導入した。これにより学生は、履修科目を主体的に選択でき、同時に学びのプロセスを可視化することができる。

*1 カリキュラム・マップとは?
学生が身に付けることが期待される知識・技能・態度等、学修目標として示される項目と授業科目との対応関係を示した図の総称

*2 カリキュラム・ツリーとは?
カリキュラムにおける履修の体系性を示すため、授業科目相互の関係や学修の道筋等を表した図の総称
(「教学マネジメント指針」(令和2年1月22日 中教審大学分科会)用語解説より引用)

2024

全学的なカリキュラム改定

社会的ニーズおよび教育環境の変化に応えた全学的なカリキュラム改定を行った。

「修道スペシャルプログラム」の開設

カリキュラム改定にて、新たに開設した特定のテーマに関連する体系的な学びを促す教育プログラム。新しい留学支援制度であるワールド・ステージ・プログラム(WSP)もその一つ。

人文学部社会学科開設

人文学部人間関係学科社会学専攻を拡充し、人文学部社会学科を開設した。

ティーチング・アシスタント、スチューデント・アシスタントの導入

教育力の向上に努めるため、教員以外の指導補助者(ティーチング・アシスタント、スチューデント・アシスタント)を導入した。



「広島修道大学受託研究規程」、「広島修道大学共同研究規程」および「広島修道大学寄附研究規程」の施行

学校法人、大学として、外部から受け入れる研究の条件等を整理し、外部資金の受け入れ体制を整備した。



「広島修道大学利益相反マネジメント規程」の施行

産学官連携活動を行う上で必要な利益相反の範囲や活動の公正性、信頼性を確保することを目的として制定した。

広島市西区役所との包括連携協定締結

これまで醸成してきた連携・協力関係をさらに発展させ、相互の人材、知識、情報などを活用し、地域の発展に役立てることを目的として、「包括的連携協力に関する協定書」を締結した。

株式会社イズミとの包括連携協定締結

双方が有する知的資源・人的資源および物的資源の相互活用により、「地域社会の発展に貢献できる」人材の育成と、地域社会とともに持続的に発展していくことを目的として、「包括的連携協力に関する協定書」を締結した。



「リカレント講座」の開講

生涯を通じた学びに対応するため、高校生以上の一般市民の方に向けて開設している生涯学習講座「修道オープンアカデミー」に、新たに社会人の学び直しの機会を提供することを目的とした「リカレント講座」を開講した。



- キャンパス内全面禁煙

- 一般選抜(前期日程)の入試制度改革
一般選抜(前期日程)の併願制の強化など、受験生が受験しやすい制度を整え、2024年度入試は3年ぶりに総志願者数が1万人を超えた。
- 新体育館建設工事着手
修道学園創始300周年記念事業の一環として建設する新体育館の工事に着手。竣工は2025年度を予定。

- サラマンカ大学(スペイン)との協定締結
- リヨンカトリック大学(フランス)との協定締結
- ハワイ大学マノア校(アメリカ)との協定締結

- ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(イギリス)との協定締結
- 「2040年の広島修道大学ビジョン」の策定
建学の精神に基づく長期的な目標を「2040年の広島修道大学ビジョン」として策定した。
- 第5期(2025~2029)中期事業計画の策定

新ブランドアイデンティティ決定

広島修道大学(修大ブランド)のプレゼンス向上を目的とし、全学的な統一コンセプトに基づくブランドアイデンティティを構築しました。今後、新ブランドアイデンティティを活用し、幅広い広報活動を行っていきます。

ブランドタグライン

広島修道大学の姿勢や想いを簡潔な言葉で表現したもの。

挑戦の先に、新しい道がある。

ブランドステートメント

ブランドタグラインを補足する文章。

変革の時代。

この状況をチャンスと捉える人が、
新しい時代をつくっていく人です。
飛び越えよう。いちばん前を歩いて行こう。
広島修道大学に脈々と受け継がれてきた
いかなる時代も切り拓いていく開拓者精神。
その気概が、教育を通じて社会で活躍できる

人材の育成に生かされています。

今しかできない冒険を。

変化を恐れず、未知を探求する楽しさを。

ブランドメッセージ

広島修道大学からのコミュニケーションキャッチフレーズ。

いい冒険をしよう。

2040VISION

「開拓者精神：未知(道)を切り拓く挑戦と創造の拠点」を体現した
新ブランドタグライン・ブランドステートメント・ブランドメッセージを策定

本学の全ての構成員が持つ志としての「開拓者精神」を、いかなる時代の壁も越えてきた飽くなき挑戦心と考え、その気概を表現する言葉として策定しました。また、「冒険」には、道を切り拓く力、開拓者精神、挑戦する姿勢、新しいモノ・コトを生み出すという、すべてが包含されています。冒険心を持ってこそ、未来は拓くことができる。若者へのメッセージであると同時に、時代へのエールとしても機能する言葉として生まれました。



「このブランドだから」という信頼感から商品を手取ることはありませんか?大学にも「早慶」や「関関同立」のようにブランドが確立していることもありますが、多くの大学、特に地方私立大学においては、ブランドイメージが無いか不鮮明になっていることが多い気がします。そこで2025年の学園創始300周年を機に、広島修道大学のブランドイメージを再構築していくことにしました。これまでも、そしてこれからも「広島修道(ブランド)だから」選んでもらえる大学をめざします。

副学長 大澤 真也

ブランドカラー

メインカラーはシンボルカラーである修道ブルーを使用し、校章スクールカラーを鮮やかにしたグリーンと新たに2色を加え、計4色をブランドカラーとして設定しました。入学してからの4年間で4色で表し、学びを深めるごとに色が濃くなり、成長しながら最終的に修道ブルーになるというストーリーを表現しています。さらに、本学の銀杏並木の四季の移り変わりもイメージしています。



イメージパターン

イメージパターンには直角二等辺三角形を用います。単体としての三角形は、手前から先へのびていく道をモチーフにしています。未知を拓き、未来へ続く道のイメージ。そして、上昇や前進など方向性を示します。また、銀杏の葉の形も表しており、可変するパターンでさまざまなメッセージを表現します。



広島修道大学公式マスコットキャラクター

広島修道大学のシンボルマークから生まれたクマ。マークのもとである「道」からの遺伝で、自分の道を切り拓いていきたい思いが強い。好奇心旺盛でポジティブな性格。広島修道大学の銀杏並木が世界で一番きれいだと思っている。



「道」という文字からデザインされた
広島修道大学のシンボルマーク



じーっと見ていると
色が違って...



青いクマが
出てきました!



愛称は学内公募にて決定します。
決定した愛称は本学公式 WEB サイト
にて2月頃発表予定です!

未来への探求

ゲーム理論と情報の経済学による

集団的意思決定の研究

経済科学部 准教授
ながおか なると
永岡 成人

神戸大学大学院 経営学研究科
マネジメント・システム専攻博士課程後期課程修了
博士(経営学)

専門分野
理論経済学

主要研究テーマ

ゲーム理論、社会選択理論、
組織の経済学、情報の経済学

社会的選択
への招待
投票と多数決の科学

伊藤秀史
小林 創
宮原泰之

組織の経済学

投票と多数決を
数理モデルとして定式化して、
集団の正解確率を分析する。

1人と多数決のどちらが うまく決められるか？

組織や社会における集団的意思決定の問題を研究対象として、ゲーム理論や情報の経済学の分析方法を用いて研究しています。このうち、まずは集団的意思決定についての話から始めることにします。例として、3人チームで二択クイズ問題に挑戦中で、2つの選択肢AとBからチームとしての回答を制限時間内に1つ選ぶという状況を考えてみます。選択肢AとBのうちどちらかが正解であり、不正解になるよりは正解する方がチームのメンバーたちには望ましいですが、どちらが正解の選択肢であるかは分からない、という不確実な

状況での意思決定問題です。チームの回答を決める方法の一つとして、各メンバーはそれぞれ自分の知識や情報からAとBのどちらが正解の可能性が高いかを判断して、どちらにするかを他のメンバーに伝えて多数決で最終決定するという方法があります。他の方法として、黙ってメンバーのうちの1人にリーダーとして最終的な決断を委ねるという方法も考えられます。正解の選択肢を選ぶという目的を考えたとき、多数決による決定と1人による決定のどちらの方法がうまく決定することができるのでしょうか？

コンドルセの陪審定理

この問いでは、多数決は各メンバーの情報や判断を

集計してうまく決定できるかどうかを、正解確率の観点から尋ねています。18世紀にさまざまな分野で活躍した学者であるコンドルセの古典的な議論の一つに、ある条件のもとで多数決は高い正解確率で決定できることを説明する陪審定理と呼ばれる議論があります。そのような数値例として、各メンバーが正解に投票する個人正解確率がそれぞれ等しく0.6である場合を考えてみます。このとき、3人中2人以上が正解の選択肢に投票することが起きる確率、つまり多数決の正解確率を計算すると0.648になり、個人正解確率0.6を上回っています。

陪審定理によると、個人正解確率が0.5を上回るとき、1人から3人、5人…と人数が増えると多数決の正解確率が上昇していき、人数が十分に大きくなると正

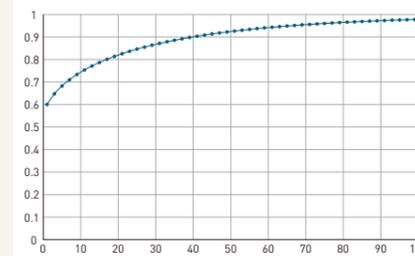


図1:横軸=人数/縦軸=多数決の正解確率

解確率は1に近づいていくことが知られています(図1)。

ゲーム理論と情報の 経済学による陪審定理研究

ゲーム理論は、複数の意思決定者がそれぞれ行動するとき、互いの行動が互いの利得に影響を与えるような相互依存関係がある状況に注目して、その状況を数理モデルの形で定式化してどのような意思決定が行われるかを研究します。情報の経済学は、意思決定者が情報を得たときにそれが意思決定にどのような影響を与えるか、意思決定者たちの持つ情報によってどのような現象が発生するのかなどを研究します。

先述の陪審定理の説明では、各メンバーの投票行動は個人正解確率によって単純化されて表されていました。ゲーム理論と情報の経済学では、人々の間で情報や利害が複雑に絡み合っている中で、それらを巡ってどのような駆け引きや決定が行われるかを分析しますので、集団的意思決定の過程におけるメンバーの行動も分析の対象とすることができ、研究を発展させることができます。

このような背景のもとで、これまでに行ってきた研究として、メンバーの情報精度に多様性がある場合にどのような投票行動が取られるか、投票による多数決ではうまく決められるのかを研究してきました。そして、情報精度が低い場合でもその情報に従って投票したときの正解確率が0.5は下回らないという形で陪審定理の想定が満たされていたとしても、陪審定理とは逆に多数決よりも1人による決定がうまく決められる状況があることを示しました。

詳しくはこちら▶



修大人の飛翔

活躍する卒業生 GRADUATES MESSAGE Vol.52

学生時代の経験が今につながる

在学中、1~2年生の頃は教員をめざし教育に関わる内容を中心に学んでいました。教育実習なども経験し、人に教える・伝えるということを経験として学び考えると共に、それが実際の現場でどのようにつながるのかということを感じさせていただきました。特に、ゼミでの卒業論文執筆の経験は現在の仕事に大きくつながっています。教育学と社会学の観点でマイノリティとマジョリティの関係性を調べることを研究テーマとし、多くの関連書籍を読み、一つの事象に対し多角的な視点を持つことの大切さを学びました。これらの経験は、お客さまから求められるものをさまざまな角度から想定しご提案させていただく現在の営業という仕事に生きています。

営業部長として逆境を乗り越えた経験

新卒1年目は建材メーカーへ就職しましたが、恩師とのご縁で現職へ転職しました。現在のメイン業務はスポンサー・チケットの営業と、営業部の部長として営業全体の管理を行っています。特徴的な業務としては、興行(試合)の運営をクラブスタッフ全員で行い、試合会場での運営対応・会場の設営・撤収なども行います。

コロナ禍でのクラブ運営はさまざまな苦労がありました。興行運営を中心に多くの人を集め、スポンサーやチケットの営業を行うことが仕事であったにも関わらず、入場制限・無観客試合、急な試合中止など困難が続きました。その反面この環境がオンラインコンテンツの発展やLIVEイベントの価値向上につながりました。ス

ポーツ指導格差の解消を目的として、メディアやIT関係の企業と連携して、山間部等の都市部から離れた地域で5G回線を活用した「遠隔バスケットボール教室」の実証実験を行ったことは、逆境に屈することなく、さらなる発展をめざそうとする強い思いを感じた経験です。

広島ドラゴンフライズ初優勝を経て

B.LEAGUE 2023-24 SEASONにおいて、クラブ創設10年目の初優勝を果たした時は本当に嬉しく、これまで応援しえてくださった方々に対し大きな感謝を感じた瞬間でした。しかしそれと同時に、クラブを支える運営(フロント)としてはまだまだ実力不足で、真の日本一のクラブへの成長を誓った瞬間でもありました。

また、初優勝によって多くのメディアに取り上げていただき、街中でもさまざまな祝い幕を掲出いただくことで、多くの方々に広島ドラゴンフライズを知っていただく機会となりました。新規営業においてもコンタクトの取りやすさは格段に上がったと感じます。優勝という結果を経て、今後いかに発展していくことができるかは我々の仕事にかかっていると考えているので、より一層励んでまいりたいと思います。

これまでお世話になった人、自分自身のルーツを大切に、私を成長させてくれた地元やバスケットボール、母校に多少なりとも恩返しにつながることができればと思っています。

日本一のクラブへ

今後は、広島ドラゴンフライズでの仕事を通じて、地元広島と日本バスケットボー

ル界のさらなる発展をめざし、広島に新アリーナを作ることを目標としています。広島の新たな象徴となるような「広島らしさ」が詰まった夢のアリーナを作りたいと思っています。そしてその先に「日本一のクラブ」として、チームだけでなくクラブ(会社)も日本一に認められるよう、一丸となって、クラブを盛り上げていきたいと思っています。

大学生生活の一つ一つの経験が思いがけない未来につながる

めざしている将来に向かって進む続けることも良いと思いますし、在学中のさまざまな学びや多くの経験を通して将来の夢・目標が変わっていくことももちろん良いと思います。大学生活での一つ一つの学び、経験が、今は想像もしていない思いがけない未来につながることもあるかもしれません。さまざまな苦労やたくさんの楽しい経験をして、充実した今を過ごしてください。仕事を通じて皆さんと出会えることを楽しみにしています。

私のターニングポイント

高校時代のバスケットボール部の恩師である現弊社代表の浦に再会し、声を掛けていただいたことが転機となり、当時考えていなかったバスケットボールを仕事にすることを決めました。



▲高校時代、浦社長から指導を受けていた当時の写真

詳しくはこちら



リーグ初優勝を経て、
真の日本一のクラブへ



株式会社広島ドラゴンフライズ 営業部 部長

たきもと たけし
瀧本 剛士 さん

人文学部 人間関係学科 教育学専攻*

2015年3月卒業

*現在の人文学部 教育学科



修 大 人

在学生
紹介
Vol.60



まえの もえ
前野 萌咲 さん
法学部 法律学科 4年
広島県・進徳女子高校出身

国家総合職(大卒程度)採用試験に在学中に合格し、法務省に内定

法学部法律学科に入学を決めたきっかけ

高校生の頃から、漠然と「公務員になりたい」と考えており、大学選びの際に広島修道大学の公務員試験合格者数の中四国トップクラスであったため、入学を決めました。その中でも法学部法律学科を選んだのは、高校での授業を通じて法律に興味を持ったことや、大学卒業後に公務員として働くうえで、法律知識や法的思考力を身につけておきたいと思ったことがきっかけでした。

国家公務員をめざし、動き出す

具体的に国家公務員になるための試験を受験しようと決めたのは大学3年生の頃で、その頃から学内の公務員試験対策講座を受講し始めました。大学で培った法律の知識を生かしつつ、多くの人の役に立つことのできる仕事に就きたいと考え、国家公務員試験の受験を志しました。試験本番直前はずっと過去問ばかり解いており、同じことの繰り返しだったため、モチベーションが低下しがちでした。そんな時に同じ公務員をめざす友人と一緒におやつを食べたり、問題を出しあったりして気分転換することで、モチベーションを維持しながら乗り切ることができました。

法学部での学びを生かし、

目標としていた進路へ

法学部での学びは、「筆記試験」と「面接」の両方で生かされました。筆記試験では法律の論述問題が出題されますが、授業の課題や試験で論述問題を解く機会が多かったので、公務員試験でもその経験が生かされました。

また、官庁訪問(志望する官庁から業務説明や面接を受けるもの)では、私の所属している鄭ゼミでの学びが生かされました。鄭ゼミでは、法務省の業務に深く関わっている債権法改正や、所有者不明土地問題に関する法改正について学んでいました。官庁訪問では、実際に本省で働かされている官僚の方と法務省の政策についてお話をさせていただ

く機会があったのですが、ゼミでの学びから得た知識や自分が感じた課題をしっかりと話すことができました。鄭ゼミに所属していて本当に良かったと思っています。

裁判所事務官総合職(大卒程度)試験にも合格しましたが、進路は国家総合職を選びました。国家総合職は政策や法令の立案を通じて、国民全体の利益のためにより大きなスケールの業務に携わることができると感じたためです。また、前述のとおり法務省の政策に関わる法律について学んでいたため、法務省の方が学びを生かすことができ、自分に合っていると感じたことも理由です。

将来の目標

将来は、法制度の整備や新たな制度の構築によって、国民の権利財産を保護し、所有者不明土地問題や無戸籍問題のような社会的な問題を解消することで、充実した国民生活の実現に貢献したいです。法務省は、民事基本法制の整備、登記や戸籍に関する事務、人権擁護活動など、国民生活や社会経済の基盤となるような業務を所管しているため、入省後は国民の権利に密接に関わる業務に携わることとなると思います。日々変化する社会情勢の中で、責任感を持ち、国民が必要としていることを理解し政策に反映させることで、安心、安全な社会の実現に貢献したいと思っています。

修大生へのメッセージ

公務員試験は長期戦なので、ただひたすら毎日勉強するのではなく、自分の心と体に気を遣いながら勉強することが大切だと思います。公官庁は民間企業に比べて内定が出るのが遅いので焦りや不安を感じるかもしれませんが、今まで頑張ってきた自分を信じてあげてください。こつこつと努力し続ければきっと実力と自信はつきます。

海外留学記

Journal of Study Abroad

おかべ りな
岡部 利奈 さん 国際コミュニティ学部 国際政治学科 4年 広島県立広島国泰寺高校出身



仁川大学校(韓国)



留学期間 2023年3月~12月

詳しくはこちら



趣味からはじまった 留学へのきっかけ

中学生の頃、韓国ドラマやK-POPにはまったことが韓国へ興味を持つきっかけでした。ドラマの台詞や歌詞の意味などを調べているうちに自然と韓国語を勉強するようになり、その経験から、大学進学を考える際に韓国への留学を視野に入れました。

入学後は、国際交流や留学に関する説明会に積極的に参加し、留学経験がある先輩方のお話を聞くことで準備を整えました。そして大学1年生の時、夏休みに行われた啓明大学校のオンラインセミナーに参加したことで、独学で勉強してきた韓国語をもっと本格的に学び、韓国の文化の違いや国際交流などを自分の肌で実感したいと思い、交換留学に参加することを決めました。



韓服を着て景福宮で撮影▲

事前に準備したこと

大学1年生の春休み頃から留学のためにアルバイトを始めて、コツコツお金を貯めました。貯めたお金は留学中にほとんど使い切ってしまいましたが、思い出や経験という何ものにも代えがたい財産になりました。

また、仁川大学校にはパディ制度というものがあります。パディのペアである交換留学生に、海外での授業や生活面に関してたくさん質問し、不安要素を無くすようにしていました。パディはとても親切で、留学中も頻繁に会い、留学が終わった今も連絡を取っています。留学中はパディにたくさん助けられました。私も留学生の力になりたいと思ったため、本学にも制度のあるパディ活動を始めました。

留学経験から得た2つの財産

留学の経験から自分の財産となったものが2つあります。1つ目は、

「国際交流への意識」です。留学先の授業ではさまざまな国の留学生がいて、韓国人だけでなく他の国から来た留学生と交流したことで、これまでの固定観念にとらわれず、多角的な視点から物事をとらえられるようになったと思います。また、今まで興味の薄かった国に対しても興味を持つようになりました。授業で自国の言語や文化について発表する際は、日本にいると気付かなかった新たな発見もあり、日本に関する知識も増えました。さらに、共通言語が韓国語しかないで、相手が言いたいことを理解する力や自分が伝えたいことを諦めずに伝える力も身に付いたと思います。

2つ目は、「自分との向き合い方」です。日本では実家暮らしのため、何かあればすぐに家族を頼りがちでした。しかし、留学中は人に頼ることがあっても最終的には自分で解決しなければならないため、解決方法を探したり得意不得意を発見したりと、自分を見つめ直す良い機会になりました。また、私は内向的な性格なので自分から声を掛けることに抵抗がありましたが、留学中にさまざまな人と交流したことでコミュニケーション能力が向上し、積極的になれたと思います。

留学で身についた異文化への考え方やコミュニケーション能力を生かして、今後も国籍を問わず多くの人と交流していきたいです。

修大生へメッセージ

留学は、滅多にできない経験をする絶好のチャンスです。不安や心配もあると思いますが、その気持ちを上回る出会いや経験が必ずあるので、留学に興味がある人はぜひ検討してほしいです。また、留学はあっという間に終わってしまうので勉強はもちろん、やってみたいことはすぐ行動に移して、悔いのない留学生活を送ってください。



留学生仲間たちとの一枚▲

留学を財産に。自分自身を見つめ直す機会

Incheon National University



NEWS

吹奏楽団／混声合唱団

シャレオ大学生コンサートに吹奏楽団と混声合唱団が出演

12月1日、教育ネットワーク中国主催の「大学競宴!シャレオ大学生コンサート」がシャレオ中央広場で行われ、本学より吹奏楽団、混声合唱団が参加しました。



吹奏楽団が管楽四重奏で「上を向いて歩こう」、木管四重奏で「クリスマスドレー」を演奏、混声合唱団が「Beautiful」、「世界が終わるまでは...」、「HERO」をアカペラで歌い、多くの方々から温かい拍手をいただきました。



詳しくはこちら >>>

硬式野球部

2024年度秋季リーグ戦において7年ぶり2位の好成績

広島六大学野球連盟による2024年度秋季リーグ戦において、硬式野球部が2位(7年ぶり)の成績をおさめました。来春2025年度春季リーグ戦では1983年秋以来の広島六大学制覇に期待がかかります。また、打撃成績10傑に伊藤 竜侍さん(商学部3年)、投手成績5傑に高橋 優斗さん(人間環境学部4年)が入りました。



INTERVIEW

アイスホッケー部の茂中さんに学生広報スタッフがインタビューしました!

Interviewee

もなか ゆうり
茂中 優里さん
人間環境学部
人間環境学科4年



Interviewer

たての まりな
立野 真梨奈さん
健康科学部
心理学科2年



立野 アイスホッケー部が単独女子チームとして初めて公式戦に出場できるようになったと伺いました。

茂中 私が3年生のとき、女子は3人しかいなかったのですが、そこからすぐ勧誘を頑張って、そのおかげが今年度、女子6人が入ってくれて、出場することができました。

立野 茂中さんがサークルに入ったきっかけを教えてください。

茂中 たまたま誘われて…先輩の滑っている姿がかっこいいなと思って入りました。

立野 アイスホッケーの経験者だったのですか?

茂中 まったくの初心者です。ずっと小学生の頃からバレーボールをやっていて、バレー部に入るか悩みましたね。入部当初、滑ることもできなかったで、滑り方の練習ばかりをして、2カ月くらいで滑れるようになりました。徐々にできることが増えていくのがすごく楽しかったです。

立野 練習や試合はどのようにしていますか?

茂中 大学の3×3バスケットボールコートでローラースケート

を使って練習したり、県外や県内のスケートリンクで練習したりしています。試合は、他大学との合同チームや社会人チームに参加して出場していましたが、人数が増え、広島修道大学単独チームとして試合に出場できるようになりました。

立野 アイスホッケー部のPRをお願いします。

茂中 マイナススポーツってネガティブに感じるかもしれませんが、逆にいえばみんな初心者です。他の大学でも、ほぼみんな初心者から始まります。だからいくらでも成長できるし、誰でも主役になれる!

立野 茂中さんのアイスホッケー愛がとても伝わりました。本日はありがとうございました。

茂中 ありがとうございました。



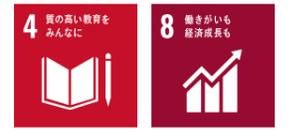
▲アイスホッケー部の女子チームのメンバー

Shudo × SDGs



広島修道大学は、SDGsを目標とするのではなく、1つの手段としてその先につながっていく私たちの「望ましい未来」へアプローチしていきます。

今年度より始動した、新たな生涯学習への取り組み 修道オープンアカデミー・リカレント講座 初心者のためのGIS入門・GIS基礎を開講



リカレント教育は「社会人の学び直し」、リスキリングは「新しい職業に就くためのスキルや今の職業で必要とされるスキルを獲得すること」を意味します。本学はリスキリングをリカレント教育の一部と位置づけ、商学部川瀬正樹教授によるGIS(地理情報システム)関係の講座を、社会人を対象とする本学初の「リカレント講座」として開講しました。

GISはコンピュータで地図を作成するツールで、世の中のさまざまな分野で活用されています。2022年度から「地理総合」が高校の必修科目となり、高校生全員がGISについて学んでいますが、現場ではGISに精通した教員が少ないのが現状です。また、GISを導入している地方自治体でも、職員の頻繁な異動によってGISの技術が継承されないことが課題となっています。すなわち、高校でも地方自治体

でも、GISに関するリスキリングが求められているのです。もちろん、民間企業にお勤めの方にもGISの活用を求められている方はいらっしゃるでしょう。

この講座はGIS初心者を主な対象とし、高校教員の方、自治体職員の方、その他社会人の方で、GISに興味はあるものの独学では難しかった方におすすめの講座として、無料で使えるWebGISやGISソフトを用いて、GISの利用者、理解者を増やすことをめざし開講しました。「初心者のためのGIS入門」では、WebGISを活用するとともにフリーGISソフトを用いて地図を表示しました。「初心者のためのGIS基礎」では、フリーのGISソフトウェアであるQGISを用いた地図作成と、GISならではの解析手法について解説しました。

PSI事業として広島修道大学 ひろしま協創中学校・高等学校で アントレプレナーシップ教育を実施



本学は、広島大学が主幹機関を務める「Peace & Science Innovation Ecosystem(PSI)」に昨年度より共同機関として参画しています。PSIでは、大学発のスタートアップ企業^{*1}の創出を大きな目的としており、スタートアップ企業創出のためのGAPファンド^{*2}の構築や、学生の起業マインドを養うアントレプレナーシップ教育^{*3}などを実施しています。

本学では、今年度の取り組みの一つとして、本学国際コミュニティ学部木原一郎准教授と人間環境学部西村仁志教授が広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校にて、アントレプレナーシップ教育を進めるための取り組みを行っています。生徒が「まち」と「しぜん」の2チームに分かれ、広島都心部における中高生の拠点の在り方や、江田島の自然環境維持・活性化への提案などを目的に(一社)カミハチキテル今田順氏、(一社)フウド後藤峻氏のアドバイスのもと、ワークショップや実地調査などに取り組みました。

今後は、本学でのアントレプレナーシップ教育の推進や、教員のファンド事業へのチャレンジを通じて、大学の研究シーズを基に地域の社会課題解決やSDGsの達成にも資する社会的インパクトの高いスタートアップの創出をめざし取り組んでまいります。

*1スタートアップ企業…革新的なアイデアで事業展開し、創業から数年程度で急成長する企業のこと
*2GAPファンド…研究成果の事業化に向けて、大学等研究機関の研究室や研究者に戦略的に開発資金を提供し、基礎研究と事業化の間のギャップ(GAP)を埋めることを目的とした資金(ファンド)のこと
*3アントレプレナーシップ教育…自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探索したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育のこと





第64回修大祭（大学祭）& ホームカミングデーを開催（11/3）

今年度のテーマは「開花～今を楽しめ修大祭～」。数多くの卒業生や市民の方々に来学いただいた。メイン会場となるプレイグラウンドでは学生たちによる屋台が多く出店し、食品販売で賑わった。ステージ企画では文化系サークルによる演奏会、武道系団体による演武祭、ゲストアーティスト「bokula.」のライブなど、学生たちの趣向を凝らした企画・イベントで大いに盛り上がった。また同日、ホームカミングデーも開催され、卒業生や元教職員など約80名が参加。久しぶりの学生気分を味わった。



修道学園創始300周年記念「冬の英語Power Up講座」を開催（12/15）

修道学園創始300周年記念事業の一つとして、大学が地域の高校生に英語学習の機会を提供することを目的とした、人文学部英語英文学科主催「冬の英語Power Up講座」を開催。英語学習に興味・関心を持つ36名の高校生、大学生、高校教員が参加した。本学教員2名による講演では、生成AIを利用した英語学習方法などが紹介された。立教大学中田達也教授による招待講演では、英語定型表現の紹介や、自宅で活用できるウェブサイトなどの情報も提供した。



第3回広島県学生地域連携活動発表会に参加（12/7）

第3回広島県学生地域連携活動発表会に本学から国際コミュニティ学部地域行政学科4年の岡 駿輔さん、沖野 実優さん、中村 未夢さんが参加。「地域プロジェクトを通して地域の未来を考える」と題し、「ポケモンカードゲームで不登校の解決」「日常で音楽を楽しめる街」「農業×ファッション」というテーマで、それぞれが地域課題と向き合った発表を行った。ポスターセッションでは、来場者からの質問に回答し、アドバイスをもらうなど貴重な学びの場となった。



外部評価を実施（10/15～12/20）

本学の総合外部評価を実施し、7名の学外有識者の方々より、本学の現状やこれからの取り組みについてなどさまざまなご意見をいただいた。これに先立ち、10月中旬～11月にかけては、学問分野別に計12回の分野別外部評価も実施し、各分野の教育研究活動についての意見交換を行った。これらの外部評価は、7年に1度受審が義務付けられている認証評価の受審を前に、本学が独自で実施したものであり、外部評価を通して本学の点検・評価活動をより実質化し、次の改善へと結びつけていくことを狙っている。



広島市「令和6年度『市政車座談義』」に本学学生が参加（9/4）

広島大学東千田キャンパスにおいて、「『学生・若者に優しいまち』づくりについて」をテーマに広島市の松井一實市長が市民と対話する「市政車座談義」が開催され、本学学生3名が参加し、市長と意見交換を行った。



もみじ銀行・SMBCコンシューマーファイナンス等との連携科目「金融リテラシー講義」を実施（9/25）

株式会社山口フィナンシャルグループ(YMFG)の子会社である株式会社もみじ銀行、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社、SMBCグループ主要各社、YMFGグループ会社と協働し、単位取得型金融リテラシー講義を開講し、学生は正しい資産運用などの知識を学んだ。



第28回 HiBiSインターネットビジネスフォーラム2024で優秀賞（10/18）

HiBiS(広島インターネットビジネスソサイエティ)主催の「第28回HiBiSインターネットビジネスフォーラム2024」で、「学生が考えるICTを活用したビジネス事例」というテーマで募集が行われ、本学経済科学部経済情報学科の学生4名が優秀賞として表彰された。



「広島の観光を知る」企業見学ツアーを実施（9/9）

1・2年次生を対象とした「広島の観光を知る」をテーマとした企業見学ツアーに、28名の学生が参加。広島の観光に関わる伊都岐株式会社、グランドプリンスホテル広島、西日本旅客鉄道株式会社を巡り、広島の観光を仕事としてみることで地域に根差した職業観を養うことを目的に開催した。



株式会社イズミと健康科学部の学生がコラボおせちを開発（10/1）

健康科学部健康栄養学科の学生有志と株式会社イズミの商品開発担当者が共同でおせち料理を開発。学生ならではの柔軟かつ斬新な発想で、新しいおせち料理の食材を盛り込んだ。20種類以上の食材メニューの試作と試食を繰り返し、最終的に10品の学生考案メニューが決定。



市川太一名誉教授が第81回中国文化賞を受賞（11/6）

本学元学長の市川太一名誉教授が、第81回中国文化賞(中国新聞社主催)を受賞。本学の学長を通算14年間務め、一般社団法人教育ネットワーク中国の設立およびその代表理事を務めるなどの数々の功績が評価され、この度の受賞となった。



SOAS University of London(ロンドン大学東洋アフリカ研究学院)と連携協定を締結（9/20）

SOAS University of London:The School of Oriental and African Studies(ロンドン大学東洋アフリカ研究学院)と連携協定を締結。今回の協定締結により、本学の協定校は世界16の国と地域、36の大学となった。来年度には短期留学プログラムの新設を予定している。



留学体験報告会を実施（10/1～9）

交換留学プログラムや夏季休暇中の短期海外セミナーに参加した学生が、留学先での授業や文化体験、寮での生活、自由時間の過ごし方、日本との違いなどについてグループごとにパワーポイントを用いて発表した。



2025年度入学予定者対象第1回キャンパス学習を実施（12/22）

早期入試で合格した高校生を対象に、入学後の学部・学科での学びに触れてもらうための入学準備学習プログラムを実施。この日は実際にキャンパスに集まり、参加者は大学での取り組みや生活をイメージする良いきっかけとなった。



INFORMATION

1 生理用品の無償配布ボックスを設置

本学では、学生の健康支援・経済支援・心理的負担の軽減を目的として、緊急時の生理用ナプキンの無償配布を学内の女子トイレおよびバリアフリートイレ26か所で開始しました。

あわせて、サンタリーボックスを、非接触型の開閉センサー式や足踏み式に更新しています。

これらの取り組みは、突発的な生理への対応や、衛生面に配慮することで、心の負担を軽減し、必要な人が必要な時に平等に、快適に、生理用品を利用できる環境を提供したいという想いから実現しました。



学生広報スタッフが制作に携わりました！

2 新 修大グッズ販売開始 広島修道大学の新オリジナルグッズを生協ショップにて販売します。



⇒ 修大オリジナル
キャンバスライントート
通学や買い物など、さまざまなシーンで活躍する便利なトートバッグ。

⇒ 修大オリジナル
パスケース
学生証・定期券などを入れるパスケース。ブラウン・ライトグリーンの2色展開です。

⇒ 修大オリジナル
ミニタオル
広島修道大学公式マスコットキャラクターのワンポイントが愛らしいアイテムです。

販売価格
¥550
税込

販売価格
¥1,990
税込

※デザインはイメージです

刊行物紹介

『ASEANの連結と亀裂 国際政治経済のなかの不確実な針路』

【執筆等教員】中井 教雄(商学部) 林田秀樹編著 見洋書房 2024年3月 324ページ 6,380円(税込)

ASEANの「連結」阻害要因は、域内にあるのか、域外からくるのか？日本ともつながりの深い東南アジア地域に位置し、ASEANという地域協力機構を構成している国々は、互いに強く結びつくことで自国経済を一層発展させ地域の政治的プレゼンスを高めようとしている。しかし、近隣アジアと世界の状況は、その思惑の実現を保証してはいない。ASEANの針路を不確実なものとしている要因に、複数分野から多角的アプローチで迫る。



『刑事法の理論と実務6』

【執筆等教員】十河 隼人(法学部) 佐伯仁志, 高橋則夫, 只木誠, 松宮孝明編集委員 成文堂 2024年6月 294ページ 4,620円(税込)

法科大学院時代における刑事法の「理論と実務の架橋」をテーマとして定期的に刊行されている書籍である。拙稿「積極的一般予防の経験的基礎と規範的限界・再論」では、「公衆の正義観念に従った処罰には犯罪予防効果がある」ということを示す近時の(アメリカ犯罪学を中心とした)実証研究を紹介した上で、刑罰ポピュリズムの暴走を抑えるために必要な規範的制約のあり方についても考察した。



『ヘイトクライムに立ち向かう 暴力化する被害の実態と法的救済』

【執筆等教員】十河 隼人(法学部) 櫻庭総, 奈須祐治, 桧垣伸次編著 日本評論社 2024年9月 256ページ 2,860円(税込)

日本におけるヘイトクライムの歴史、現状、諸外国の制度、法的・政策的課題について総合的に検討した書籍である。拙稿「ヘイトクライムの規制手段としての量刑」では、日本には「一國連の種差別撤廃委員会などから懸念を示されているにもかかわらず」ヘイトクライムを加重処罰する規定がなく、専ら量刑における裁判官の裁量に委ねられていることについて批判的に検討し、量刑立法の必要性を示唆した。



『日韓スタディーズ 日本と韓国をつなぐ ①新たな研究と学び』

【執筆等教員】宮内 彩希(法学部) 山本浄邦, 金敬黙編 ナカニシヤ出版 2024年8月 274ページ 2,860円(税込)

本書は、学問的アプローチである研究と市民的アプローチとしての教育の協働を通して、国家間葛藤に左右されない新たな日韓関係の実現に向けた日韓スタディーズの確立を目的としている。本教員は「第1章 地域から捉え直す韓国・朝鮮との歴史 - 山口・対馬・広島にあるゆかりの地を巡る」という題目で、日本各地に残るゆかりの地に直接赴き、日本と韓国・朝鮮の間に起こったさまざまな歴史をより身近に感じながら学ぶ歴史実践を紹介した。



『生命起源の事典』

【執筆等教員】川村 邦男(人間環境学部) 生命の起原および進化学会監修/藪田ひかる, 川村邦男, 赤沼哲史, 木賀大介, 根本直人, 古川善博, 横堀伸一編 朝倉書店 2024年4月 300ページ 8,250円(税込)

地球における生命起源の問題は、サイエンスのフロンティアである。本事典は古典論から最新の研究まで網羅し、地球はもちろん広大な宇宙を含め普遍的な生命起源の謎にせまる。全5章(1章:基礎知識・用語説明、2章:生き物の仕組みと変遷、3章:宇宙での化学進化、4章:地球での化学進化、5章:物質から情報・システムへ)、約140のキーワードについて第一線の研究者が1-2頁の読み切り形式で解説する。



『友人関係の心理学 生涯にわたる多様な友情の考察』

【執筆等教員】児玉 恵美(健康科学部) マハザド・ホジャット, アン・モイヤー編 金子書房 2024年2月 480ページ 7,920円(税込)

友人関係がもたらす恩恵と葛藤についてまとめられた、研究者だけでなく友人関係に悩む人にも役立つ書籍の翻訳本。本書の中では、児童期から老年期までの友人関係、多様な関係性(同性間・異性間、人種・民族・性的指向、ソーシャルメディア、恋愛、ペットなど)における友人関係が幅広く取り上げられている。そして友人関係にまつわるさまざまな葛藤や身体的・精神的健康との関係などについて、多岐にわたる知見が提供されている。



『中央ユーラシア文化事典』

【執筆等教員】宇野 伸浩(国際コミュニティ学部) 小松久男編者代表 丸善出版 2023年6月 814ページ 24,200円(税込)

本書は、ユーラシア大陸の中央部にあたる中央ユーラシア(中央アジア、北アジア)の地理・歴史・人物・生活・食・都市・商人・言語と文字・文学・宗教・芸術・民族・探検・日本との関わりなどについて、古代から現代までを多角的・総合的に解説した読む事典である。宇野は「チンギス・カン」「クルルタイ」「婚姻と相続」の項目を執筆している。



『聖書の同盟 アメリカはなぜユダヤ国家を支援するのか』

【執筆等教員】船津 靖(国際コミュニティ学部) 船津靖著 河出書房新社 2024年6月 224ページ 979円(税込)

犬の尻尾が犬を振り回すかのように、小国イスラエルが超大国を振り回す。アメリカのユダヤ国家への「偏愛」の構造をユダヤ教とキリスト教の錯綜した歴史にさかのぼって考察した。①旧約の「約束の地」に象徴される両国の建国神話の類似性、②トランプ支持者に多い福音派の黙示思想、終末論を軸に整理した。終章でガザ戦争について書きながら、占領もテロも批判する自分の支えは国際人道法とリアリズムだと再認識した。



INFORMATION

新体育館完成までの道のり ⑤

学校法人修道学園創始300周年にあたる2025年度の完成をめざして、新体育館建設工事が行われています。「新体育館完成までの道のり」第5回となる今回は、屋根の設置と内装工事の様子をお届けします。今後は屋上の太陽光パネル設置、ガラスや建具、内装ボード等の取り付けに進んでいきます。

詳しくはこちら >>>



※写真はイメージです

工事などの様子

屋根部分の鉄骨建方工事後、折板屋根を取り付ける工事を行っています。内部は床面の施工がほぼ完了し、壁面やダクト、手摺等の設置が進んでおり、各部屋の形状が少しずつ現れてきています。



折板屋根取り付け



壁面軽量鉄骨下地の設置



鉄骨の塗装・ダクトの設置



階段手摺の設置

寄附のお願い

学校法人修道学園 創始300周年記念新体育館建設事業寄附金

広島修道大学のさらなる発展にける思いをご理解いただき、新体育館建設事業寄附金募集に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新体育館建設事業寄附金
お申し込みはこちら >>>



広島修道大学寄附金

平素より広島修道大学の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。今後ともあたたかいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

広島修道大学寄附金
お申し込みはこちら >>>



入学試験案内

一般選抜（前期日程）

試験日 A日程 2/1(土) B日程 2/2(日) C日程 2/3(月)

出願期間 (インターネット出願受付) 1/6(月) ~ 1/21(火) ※

※出願初日のみ8:45~受付開始
※最終日の登録は15:00まで、検定料入金は16:00まで
※詳細は本学入試情報サイトをご確認ください。

一般選抜（後期日程）

試験日 3/4(火)

出願期間 (インターネット出願受付) 2/13(木) ~ 2/25(火) ※

入試情報サイト >>>



入学試験スケジュール >>>



EVENT

2/14(金)

地域つながるプロジェクト・
地域つながるスタートアッププロジェクト2024活動報告会

時間 13:00~ 場所 本学3号館3101教室



3/19(水)

学位授与式

時間 13:00~ 場所 本学体育館



4/1(火)

入学式

時間 13:00~ 場所 本学体育館



新入生保証人対象後援会ガイダンス

時間 14:30頃~ 場所 本学体育館ほか

アンケートにご協力ください

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

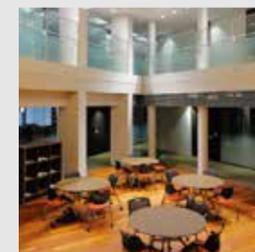
アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。
https://ws.formzu.net/dist/S52890193/



抽選で20名さまに
「修大オリジナル ブックマーク(本革)」を
プレゼント!

応募締切:3月28日(金)

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



表紙写真のご紹介 表紙撮影場所:3号館

2013年に竣工した現在の3号館には、天然木に囲まれたシンプルで落ち着いたデザインの大教室や大学院研究室、教員研究室があります。また、3号館のエントランスには、広島修道大学の歴史について知ることができる展示スペースを設けています。